

## 会 議 議 事 録

|        |   |
|--------|---|
| 会議等の名称 | 令和5年度第2回磐田市子ども・子育て会議  |
| 担当部課名  | こども部こども未来課  |
| 開催日時   | 令和6年3月12日（火） 10:00~11:30  |
| 開催場所   | にこっと 視聴覚室   |
| 出席者    | <p>出席委員（敬称略9人）<br/> 山田悟史、鈴木敏弘、鈴木恵、松野裕貴、山田善彦、竹内直樹、中原未歩、猪原裕子<br/> 小島凱</p> <p>事務局（12人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども部長 鈴木壮一郎</li> <li>・こども部 幼稚園保育園課 課長 清水大輔、課長補佐 伊藤里香、<br/> 運営支援グループ 主査 鈴木良幸</li> <li>こども未来課 課長 佐原直美、課長補佐 山下正輝</li> <li>発達相談グループ 主査 青木明博、</li> <li>子育てサポートグループ 主査 藤田昌弘</li> <li>こども・若者相談センター長 和久田徹</li> <li>ひと・ほんの庭 にこっと 館長 兼子順子</li> <li>総務・給付グループ 主査 影山正樹、主任 吉武宏和</li> <li>放課後活動課 児童クラブグループ 主査 土井雅哉</li> </ul> |
| 議題     | <p>(1) 磐田市こどもの権利条例について（こども未来課）</p> <p>(2) 磐田市幼児教育・保育推進計画の進捗状況について（幼稚園保育園課）</p> <p>(3) 生活状況調査・ニーズ調査の結果について（こども未来課）</p>   |
| 配付資料等  | <p>資料1 磐田市こどもの権利条例</p> <p>資料2 こども基本法ってなに？</p> <p>資料3 生活実態調査</p> <p>資料4 ニーズ調査</p> <p>資料5 磐田市幼児教育・保育推進計画の進捗状況等について</p>  |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 1. 開 会<br>(こども未来課) | 令和5年度第2回磐田市子ども・子育て会議を開催いたします。会長に議長をお願いいたします。   |
| 2. 議題等<br>会長       | 議題1「磐田市こどもの権利条例について」です。<br>事務局から説明をお願いします。   |
| 事務局<br>(こども未来課)    | 【資料1 磐田市こどもの権利条例】<br>【資料2 こども基本法ってなに?】   |
| 会長                 | ただいまの説明に質問がありましたらお願いします。   |
| 委員                 | 条例制定のスケジュールについて教えてください。  |
| 事務局<br>(こども未来課)    | 夏頃までに骨子を作り、子ども・子育て会議で意見を聞き、議員懇談会やパブリックコメントで様々な意見を聞いて、来年1月の制定を目指して進めていきます。  |
| 委員                 | 今までも磐田市には「こどもの権利条例」があったが、今度は市民を巻き込んで「こどもの権利条例」を制定するということだと思いますが、制定する一番の目的は何ですか？  |
| 事務局<br>(こども未来課)    | こどもの権利について市民が考える機会を設けることで、市民全体で子どもを尊重し、子どもの最善の利益を考え、子どもを真ん中に置いたまちづくりを行い、子どもだけでなく周りの市民もみんな幸せになるようなまちをつくっていききたい。そこに究極の目的があるのではないかと考えています。  |
| 事務局<br>(こども未来課)    | 補足ですが、磐田市には「こどもの権利条例」はありません。こども家庭庁が令和5年4月に発足し、こども基本法が制定され、その流れを受けて、本市においてもしっかり子どもを育てていこうという理念を掲げた条例を制定していきたいという思いで、令和5年の市議会本会議において草地市長が市民の皆様が発信しました。このことを踏まえて、子ども達の施策等を考えるのが子ども・子育て会議なので、まずは皆様に「こどもの権利」についてお伝えし、皆様が感じていることを聞き取らせていただいで、その後、アンケートや子ども達の生の声を聞き、それをまた皆さんに報告して、この会議で素案を作らせていただきます。 |

|                  |   |
|------------------|---|
|                  | <p>そして、条例というのは市議会に上程をして議員に審査していただいて了承を得ないと公表できないものなので、このような流れでやらせていただきたいと思います。</p>      |
| 委員               | <p>「こどもの権利に関する条約」を全く知らなかったのですが、小中学生はどうして知っているのですか、授業とかでやっているのですか。</p>                   |
| 事務局<br>(こども未来課)  | <p>小中学生がこの内容をどのように知ったのか詳細は掴めておりませんが、道徳などの授業や新聞報道等で理解したのではないかと考えています。</p>                |
| 事務局<br>(こども未来課)  | <p>もしかしたら中学生は知っているが、小学生は知らないとかもあるのかもしれないし、広島平和記念式典に行くことになって勉強したという子もいるかもしれません。</p>      |
| 事務局<br>(こども未来課)  | <p>それでは、グループに分かれて意見交換を行います。</p> <p style="text-align: center;"><b>【グループ討議】</b></p>      |
| 事務局<br>(こども未来課)  | <p>それでは時間になりましたので、発表していただきます。</p> <p style="text-align: center;"><b>【グループ討議の結果】</b></p> |
| 3. その他           |   |
| 会長               | <p>ありがとうございました。</p> <p>次に「磐田市幼児教育・保育推進計画の進捗状況について」、事務局より報告をお願いします。</p>                  |
| 事務局<br>(幼稚園保育園課) | <p style="text-align: center;"><b>【資料5 磐田市幼児教育・保育推進計画の進捗状況等について】</b></p>                |
| 会長               | <p>続きまして、「生活状況調査・ニーズ調査の結果について」、事務局より報告をお願いします。</p>                                      |
| 事務局<br>(こども未来課)  | <p style="text-align: center;"><b>【資料3 生活実態調査】</b></p>                                  |
| 会長               | <p>今回がこのメンバーで開催する最後の会議となります。</p> <p>参加した感想など何でも構いませんので一言ずつお願いします。</p>                   |

委員

良い経験をさせていただきました。自分の子育てというか家庭目線でしかないのですが、行政の方と意見交換ができる機会は希少だと思っています。色んな友達や友人から聞いたことを自分の中で整理して意見を述べさせていただけたというのはすごく良い経験だと思いましたし、それを経験だけで済ませてはいけないと思いました。

せっかくこの会議に参加したので、こうなったらいいなという意見があったらどんどん行政に申し伝えさせていただこうと思いますので、その節はよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員

委員になって2年経ちましたが、参加させていただくと普通に生活していたら聞くことができない、見ることができない、行政の動きや情報を得ることができてとても収穫になりました。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員

子どもについての市の取組で、市民を巻き込んで進めていくという進め方が非常に前向きで皆さんが納得できるような形で進められているため安心しました。

今後も引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員

まだ私は一年目ですし、来年も特に変わらないので引き続き委員をさせていただくことになると思います。色んな家庭や環境があって、多様性も進んでいる時代なので、本当に全ての意見を聞いているとまとまらないようなこともあるかなと思うのですが、誰一人取り残すことなく、子どもを大切にしようという方向性が見えてくるといいなと願っています。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員

今回このような会に参加させていただけたことは自分の中ですごく大きな経験になったと思います。自分が磐田市に住んでいながら、磐田市が何をしているのか、何を考えているのか、市民のために何をしてきているのかというのは正直そんなに大きな関心事ではなかったというのが正直な気持ちで、今回このような場に招待させていただいて、色々こういうことをして下さっているのだなということがすごく分かってとても勉強になりました。今後、自分もアンテナを張りながら、色々吸収していきたいと思いました。ありがとうございました。

委員

私は子どもの施設から来ていますが、どこまで貢献できたかということと、自分ももうそろそろ子育てが終わりつつあるのですが、あの時の

|                 |   |
|-----------------|---|
|                 | <p>事を思い出しながら色々な話を伺いながら、自分の時もそうだったなと思ったり、新しい時代になり、親御さん達が自分でこれだけ発信しながらやっつけていける世の中になってきたのが良いことだと思いつつ伺わせていただきました。また何かあればご協力させていただければと思っています。よろしくお願いします。</p>   |
| 委員              | <p>この場に参加させていただいて、部長の熱い想い等を父親として聞かせていただくことができるとも感謝しておりますし、今後ともまたよろしくお願いします。今まで参加させていただいてありがとうございました。</p>  |
| 委員              | <p>SDGS に基づく若者たちの新しい考え方が今磐田市でも芽吹いております。それに基づく結婚や進学や就職、家庭問題、社会情勢についての若者や小中学生の保護者の考え方について、機会があったらぜひ教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>   |
| 委員              | <p>私は大学の教員でスポーツ保育というものを担当しております。昔、千代の富士という力士が言っていた言葉で「3日後に勝てる練習と3年後に勝てる練習の両方をしなければいけない」という難しいことを言っておりましたが、私の大学のスポーツ保育でのモットーとしましては「今と未来の子どもたちの元気と笑顔を守りたい」というような気持ちでいます。そのため、個を尊重すると共に、その子ども達の未来や、子ども達が大人になった時の子ども達の未来も考えて、同時に尊重していけるようなそういう社会になったらいいなと願ってやみません。また今後とも皆さんと何か縁があるかもしれません、よろしくお願いします。ありがとうございました。</p> |
| 会長              | <p>では、以上をもちまして本日の議事・協議を終了させていただきます。限られた時間の中、皆さんから貴重なご意見をいただき、また会議の進行にご協力をいただき誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局にお返しいたします。</p>   |
| 事務局<br>(こども未来課) | <p>ありがとうございました。</p> <p>最後にこども部長からご挨拶申し上げます。</p>   |
| 事務局<br>(こども部長)  | <p>今日は本当にありがとうございました。そして1年の方も2年の方もいらっっしゃいますけど、それぞれの立場で積極的な発言をいただきまし</p>   |

た。先ほど委員の皆様の討議の中でも児童クラブで子どもを預けているが本当に子どもの人権が守られているかという話がありました。幼稚園保育園課の説明の中では、預かり保育やいろんなことを言いましたが、病児保育を拡充していく。放課後児童クラブも今度東部に新しい施設を作りますということで、相反するような提案報告をさせていただいています。静岡県内で製造品出荷額が、1位が静岡市、浜松市、湖西市、磐田市となっています。そういうものづくりのまちにあって、労働力を考えると、子どもが病気の時には、子育てはまず家庭からという理念の下に家で子どもを見てほしいという思いはあります。しかしながら、工場のラインで働いていらっしゃる方は、子どもが少し熱があるとか、病気が回復期で元気だけど、まだ保育園は受入れてくれないとか、そういうときに休めないのですね。病児保育の利用状況について統計をみると、夜の8時に受付が始まるのですが、1分で満員になってしまうような状態です。そして、再募集が朝の5時や6時に始まるのですが、1分でまたその空きが埋まってしまう。体調を崩した子どもを本当は看たいのですが仕事を休めない環境の中で、子どもの面倒を見ながらも、夜8時にも朝の5時や6時にもパソコンと向き合って、病児保育の予約をとっている方がたくさんいるということなのです。そうすると、その方を救うためだけでも、それは真に子どものためになっているのかということが自分の中でも常に葛藤しながら、保育サービスの拡充をせざるを得ない状況でした。一方、幼児教育、幼稚園にお子さんを預けて教育的理念で成長を期待している方はいいのですが幼稚園の需要が落ちている中で保育需要は横ばい、人口がこんなに減っていて出生数は1,000人ちょっとですが、もうすぐ900人に落ちるといことですね。来年には850人ぐらいになってしまうと。そんな中で子育てを少しでもしやすく、そして子どもの人権を守りながら、子ども達の意見も聞きながら、先ほど言いましたこどもの権利条例を来年の11月の議会に上程をさせていただき、制定をし、理念を固めます。そしてその決まった理念に基づいて、新しいこども計画を磐田市でしっかり作って、そして、皆さんと一緒にそれを進めていきたい。その中で、今回はタブレットが小中学生に配布されていますから、全てのお子さんの意見を聞きたいと思っていますし、できれば子どもにもこういうところに参画いただいて生の声を聞きながらみんなで計画をつくりたいと思っています。我々はただやらされている行政マンではなく、磐田市の子どもそして保護者の方に喜んでいただけるまちをつくりたいという思いでやっておりますので、ぜひ、また関係者や友人に声をかけていただいて、磐田市にはこうなってほしい、こういう声がある、こういうことをしてもらいたいといったことをぜひこども未来課に情報をいただいて、それを参考につくってまいりたいと思います。本当にありがとうございました。こ

4. 閉会  
事務局  
(こども未来課)

れからもよろしくお願いいたします。

ご協議・ご意見ありがとうございました。

以上で、令和5年度第2回磐田市子ども・子育て会議を終了させていただきます。ありがとうございました。